

海辺の映画館—キネマの玉手箱 (2019)

メディア 映画

ジャンル ファンタジー ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 179分

初公開日 2020/07/31

公開情報 アスミック・エース

映倫 PG12

【キャッチコピー】

また見つかった。

何がだ？

永遠。

【解説】

2020年4月に惜しくもこの世を去った大林宣彦監督の遺作となったファンタジー・ドラマ。20年ぶりとなる故郷・尾道を舞台に、戦争映画のオールナイト上映をしていた海辺の映画館で、突然スクリーンの世界にタイムリープしてしまった3人の若者が、それぞれの時代を生きる人々との交流を重ねながら戦争の歴史を追体験していくさまを、エネルギーあふき自由奔放な筆致で描き出す。主演は厚木拓郎、細山田隆人、細田善彦、それぞれの運命のヒロインに吉田玲、成海璃子、山崎紘菜。また常盤貴子ら大林組ゆかりの俳優陣はじめ多彩な豪華キャストが脇を固める。

尾道の海辺にある唯一の映画館“瀬戸内キネマ”が、閉館を迎え、嵐の中、最終日のプログラムとして“日本の戦争映画大特集”のオールナイト上映が始まる。すると、映画を観ていた3人の若者、毬男、鳳介、茂が突然スクリーンの世界にタイムリープしてしまう。乱世の幕末や戊辰戦争、日中戦争などを体験しながら、上映中の戦争映画の中を旅していることに気づく3人。やがて原爆投下前の広島に迷い込み、そこで看板女優の園井恵子率いる移動劇団“桜隊”と出会う3人だったが…。

【クレジット】

監督	大林宣彦	
アクション監督	森聖二	
企画プロデューサー	鍋島壽夫	
エグゼクティブプロデューサー	奥山和由	Kazuyoshi Okuyama
プロデューサー	中村直史	
	小笠原宏之	
	門田大地	
脚本	大林宣彦	
	内藤忠司	
	小中和哉	
脚本協力	渡辺謙作	
	小林竜雄	
撮影監督	三本木久城	
美術監督	竹内公一	
衣裳	千代田圭介	

編集	濱中美衣 大林宣彦 三本木久城	
音響効果	佐々木英世 伊藤進一	
音楽	山下康介	
製作協力	大林恭子	
監督補佐	桑原昌英	
合成	三本木久城	
VFX	塚元陽大	
照明	西表燈光	
録音	内田誠	Makoto Uchida
整音	山本逸美	
装飾	相田敏春	
小道具	中村聡宏	
ヘアメイク	和栗千江子	
撮影台本	大林宣彦	
撮影台本協力	桑原昌英	
ナレーション	広中雅志 綿引さやか	
出演	厚木拓郎 細山田隆人 細田善彦 吉田玲 成海璃子 山崎紘菜 常盤貴子 小林稔侍 高橋幸宏 白石加代子 尾美としのり 武田鉄矢 南原清隆 片岡鶴太郎 柄本時生 村田雄浩 稲垣吾郎 蛭子能収 浅野忠信 伊藤歩 品川徹 入江若葉 渡辺裕之 手塚眞 犬童一心	馬場毬男 鳥鳳介 団茂 希子 斉藤一美 芳山和子 橘百合子 杵馬（瀬戸内キネマ支配人） 爺・ファンタ 老婆（チケット売場） 坂本龍馬 能を踊る男 千利休 中岡慎太郎 西郷隆盛 大久保利通 芹澤鴨 酒匂（苦力姿） 川島芳子 宮本武蔵 お通 浅野深夫上等兵 映画監督（小津） 映画監督（山中）

根岸季衣	お李
中江有里	奈美子（新聞記者・爺・ファンタの娘）
笹野高史	加也を刺す上官／車掌／倉庫番A
本郷壮二郎	滝上等兵／軍曹（日本軍駐屯地）
川上麻衣子	愛姫（滝の中国女）
満島真之介	金城 亀二
大森嘉之	金城亀吉（村長）
渡辺えり	宮地節子（列車のおばさん）
窪塚俊介	丸山定夫
長塚圭史	男の子の父
寺島咲	男の子の母
犬塚弘	映画館で幸せそうに居眠りする客
有坂来瞳	
大場泰正	
ミッキー・カーチス Mickey Curtis	